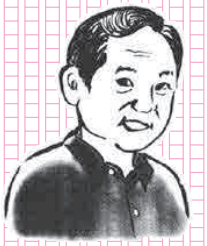

町長エッセイ

新型コロナウイルス感染の終息が見通せないなかでも、検温・消毒・マスク着用・来場者の氏名確認などの感染対策を徹底しながら開催された行事がありました。和紙まつりと小川和紙マラソン展です。

和紙まつりは、１１月２８・２９日の両日、埼玉伝統工芸会館で行われ、細川紙をはじめとする様々な小川和紙と、それを使用して作られた製品の展示即売会でした。研修を修了した皆さんの斬新な作品もあり、今後に期待を寄せていきたいと思えるものでした。

小川和紙マラソン展は１２月１日～２０日まで、町立図書館を会場に開催されました。小川和紙マラソン大会は、毎年１２月の恒例イベントとして定着し、全国から４，０００人を超えるランナーを迎えて２７回の歴史を重ねてきました。しかし、新型コロナウイルスの影響により、第２８回はやむなく中止となりました。これを機会に今までの小川和紙マラソン大会を振り返ることで、スタートさせた関係者の熱い思い、歴代の関係者の願いを知ることができます。そこには未来へつなぐ希望がありました。

松本恒夫